

弥富地区の概要

弥富地区は、佐倉市のほぼ中央を流れる鹿島川の上流と、その2本の支流に沿って田畑が作られ、その周囲に形成された集落群です。佐倉市の南西に位置し、千葉市・八街市・四街道市と接して672世帯、1,889人が住み、13.66km²の面積を持つ穏やかな田園地帯です。

地区の中心産業である農業は、時代の変化とともに、耕作面積、農業戸数・農業者人口とも減少が続いています。また、弥富地区全域は市街化調整区域であり、就業形態が変化しても、人口増加は望めない現状にあります。その意味では、過疎化に伴う日本の農村の問題が顕著に見られる地域である、とも言うことができます。

このようななかで、企業の研究所の設置や美術館の開館など新しい息吹を感じさせるようになってきました。さらに弥富地区と千葉市にまたがる地域にちばリサーチパークという研究施設等の大規模開発がスタートし、新しい時代に向かった流れが徐々に広まりつつあります。

地区面積 13.66km² 地区人口 1,889人 地区人口密度 138人/km²

管理・運営の部

1. 公民館運営計画

運営方針

佐倉市立公民館活動計画を基本として、歴史の足跡が現在に伝えられ地区全域が市街化調整地域で伝承文化や地域独自の暮らしが残っている弥富地区の実情を考慮し、地区住民の自主的な交流・集会・学習などの活動の援助をするとともに、そのニーズに応えた主催事業を展開していく。

平成21年3月に新施設がオープンとなる予定で、今年度はほとんど仮事務所にて業務を行うことになり、主催事業の実施が制約される。そのため、継続性が求められる事業、地域の人達と公民館のつながりを保ち新施設開館後の利用促進が図れるよう実施する事業、他地区の方に弥富地区のよさを知って貰うことを目的に開催する事業。以上の3点を念頭に現在有る施設で可能な限りの事業を展開する予定である。特に佐倉学の趣旨を考慮し低年齢層の公民館利用を促すとともに地域の伝統・風習を体験学習することを目的に事業を展開した。

努力目標

地域の実情に即した学級・講座の充実を図る。

地域住民が気軽に足を運び、利用できるような公民館となるように努める。

事業内容

1. 学級講座

楽しく、共に学び合う場を作り、みんながふれあい、みんなで考え、みんなで何ができるのか考える場にしたたい。

2. 広報・団体育成事業

公民館事業のお知らせや、地域の学習、生活情報の提供をする中で、地域住民に公民館への関心を持ってもらおうと共に、利用団体、関係団体との交流、育成を図る。

3. 施設の提供

開館時間

午前9時～午後5時（申込みがある場合は午後10時まで）

休館日

国民の祝祭日・年末年始・日曜日

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
区分					
利用件数	379	378	310	339	172
利用人数	6,145	5,353	3,926	4,969	1,982
開館日数	294	292	293	294	294

事業の部

事業一覧

領域	事業名	学習内容	対象・人数	期間・回数
家庭教育	親子遊びのつどい	幼児期の親子のコミュニケーションの大切さを遊び、協同作業、講義等を通して学習した。	市内の2・3歳児とその保護者 10組	6月～2月 11回
	家族で遊ぼう	家族で遊ぶことを通して、親子が一緒に何かをすることの大切さを学んだ。	就学前の幼児とその家族 10組	11月 1回
少年教育	弥富剣道教室	剣道を通して日本の文化や礼儀作法を修得するとともに「立身流」の技術を学んだ。	市内の小・中学生 11人	5月～3月 36回
	星空観察会	星空を観察することで地区の豊かな自然と科学への興味を育んだ。	弥富小児童及び一般 25人	5月 1回
	なんでも体験弥富塾 (佐倉っ子塾)	弥富地区の豊かな自然や歴史・風習を地域の方を招き、様々な体験や実習・講義を通して学習した。	弥富小学校児童 延べ194人	5月～2月 9回
成人教室	くらしの講座バス研修	地区外のさまざまな文化に触れることにより、自分たちの生活を見直し、豊かにするためのきっかけづくりとした。	一般 延べ82人	6月・3月 2回
	史跡散策会 (佐倉学)	弥富地区の史跡を散策することで郷土への関心を高めるとともに、弥富地区を他地区の住民に紹介した。	一般 延べ20人	12月 2回
	竹炭作り体験	地域にある窯を利用して竹炭づくりの体験を行った。	一般 30人	12月 1回
	ふるさと弥富散策会	鹿島川流域の散策をし、弥富地区の豊かな自然等について理解を深めた。	一般 延べ30人	5月・10月 2回
広報	弥富公民館だより	公民館の事業案内や紹介、地域の学習・生活情報の提供等を行った。	弥富地区全戸	年3回
団体育成	弥富民俗資料展示室	展示室の見学に対し、文化課と連絡をとって説明・案内の実施に協力した。		随時
	弥富地区青少年育成住民会議	青少年健全育成住民会議の開催する地区グラウンドゴルフ大会の開催を協力した。		11月 1回

家庭教育事業

親子遊びのつどい

開設趣旨 子どもたちが、友だちとの遊びやものを作ることを通して、遊ぶことの楽しさ、重要さを学習するとともに、保護者も一緒に行動することで、子育てについて考え、学習することのできる場とする。

対象・人数 市内の2・3歳児とその保護者 10組

期間・回数 平成20年6月5日～平成20年2月12日 11回 午前10時～11時30分

学習目標 幼児を、個性を持つ独立した人間として捉える。
講座の遊びを、個人でも展開できる。
講師と保護者、保護者と保護者の結びつきを強める。

指導者 蓮 淳子

学習内容 リズム体操、工作、野外散策、絵本の読み聞かせ等

内容

	月 日	テ - マ		月 日	テ - マ
1	6月10日(火)	開講式・みんな仲良し	7	10月28日(火)	落ち葉で遊ぼう
2	6月24日(火)	新聞紙で遊ぼう	8	11月25日(火)	クリスマス会の準備
3	7月15日(火)	何ができるかな	9	12月 2日(火)	クリスマスお楽しみ会
4	8月26日(火)	夏の思い出	10	1月20日(火)	童歌で遊ぼう
5	9月 9日(火)	どんな色が好き?	11	2月10日(火)	閉講式・お話と遊ぼう
6	10月 7日(火)	体操しよう			

講座を終えて

弥富 地区では、就学前の子供の数が減少傾向にあり、同年齢の子供たちと集団で活動する機会が少ないので子供たちも貴重な経験となったようである。この年齢の子供たちは、特に親子のふれあいが必要な時期であり、身近なものを使っの様々なプログラム を親子で共に行うことの意義は大きい。

他の子供と比べることにより、いつもと違った視点で子供を見つめることのできる貴重な機会の提供になっていると思うので次年度からも更に内容を工夫して充実させていきたい。

家族で遊ぼう

開設趣旨 家族で遊び、協同作業をすることを通して、遊ぶことの楽しさ、重要さを学習する。

対象・人数 佐倉市在住の小学校入学前の児童とその家族 10組

期間・回数 平成20年11月3日(祝) 1回 午前10時～11時30分

学習目標 家族で同じ時間を共有することの大切さを学ぶ。

指導者 蓮 淳子

学習内容 川村記念美術館野外散策

講座を終えて

「親子遊びのつどい」を発展させ、開催日を休日に設定することにより母親だけでなく父親の参加も促し、家族そろって共通の体験を通して絆を深める機会を提供した。

川村記念美術館を散策し草木や動植物に親子で触れたり、身近にあるもので工夫して親子でおもちゃ作りを体験して楽しく遊びました。

少年教育事業

なんでも体験弥富塾(佐倉っ子塾)

開設趣旨 弥富地区の豊かな自然や歴史・風習を地域の方を講師に招き、様々な体験や実習・講義を通して学習する。

対象・人数 弥富小学校の児童 延べ194人

期間・回数 平成20年5月31日～平成21年1月31日 10回 午前9時30分～11時30分

学習内容

月 日	曜日	内 容	講 師
5月31日	土	身近にある素材を使っておもちゃづくり	大山登美枝
6月14日	土	ザリガニ釣り	岩井 明
7月12日	土	身近にある素材を使っておもちゃづくり	大山登美枝
7月19日	土	キャンプ体験	弥富地区社協
8月20日	木	野菜クイズとデザートづくり	食生活改善推進員
10月 6日	土	バス見学(千葉県科学館、LION工場)	
11月15日	土	親子ハイキング(御殿山)	
11月29日	土	身近にある素材を使っておもちゃづくり	大山登美枝
12月13日	土	体にいい料理をつくろう	食生活改善推進員
1月31日	土	身近にある素材を使っておもちゃづくり	大山登美枝

講座を終えて

弥富地区の豊かな自然や歴史・習慣を地区の人達を講師として活用し、保護者の参加も促しながら様々な体験を通して子供達に伝えていくことを目的に実施した。

次年度は、新施設を有効活用する為、弥富地区社会福祉協議会や食生活改善推進員等の地域で活動している団体との連携を深めながら内容の充実を図っていきたい。

弥富剣道教室

開設趣旨 佐倉市に歴史的な遺産として継承されている「立身流」(千葉県指定無形文化財)の次代への継承を念頭に置き、剣道の修練を行うとともに、文化の継承と地域の歴史・風土を身をもって大切にする心を育てながら、仲間意識の醸成を図る。

対象・人数 佐倉市在住の小中学生 11人

期間・回数 平成20年5月10日～平成21年3月7日 36回 午前9時30分～11時30分

学習目標 剣道の技術と心の学習を高める。

学年間の交流を進め、人を大切にする心を育てる。

郷土意識を醸成し、地域の文化を大切にする意識を高める。

指導者 林 善一、櫻村 典久、片岡 康平、田中眞二、山本幹夫

講座を終えて

千葉県の無形文化財で佐倉市に伝わる「立身流」の技と精神を指導され、八街中央中学校武道場で開催された立身流抜初式にも参加し子供達も基本の型を修得できました。

通常の稽古でも、週に一度の限られた時間に密度のある稽古を目指し、特に声を出し元気に練習することを第一の目標とし、精神面でも成長がみられました。

星空観察会

開設趣旨 自然が残り、佐倉市の中でも暗い夜空が望める弥富地区の環境を星空を観察することで体験するとともに。親子で宇宙の神秘を感じる心を共有する。

対象・人数 弥富小学校の児童とその家族 25人

期間・回数 平成20年5月15日(木) 1回 午後7時30分～9時

学習内容 天体望遠鏡を使って、月や土星などを観察する。

指導者 公民館職員

講座を終えて

親子連れや高齢者の方まで幅広い層の参加があり、月のクレーター・土星の環を天体望遠鏡で観察して宇宙の神秘に感動の声を上げていました。

成人教育事業

くらしの講座バス研修

開設趣旨 地区外のさまざまな文化に触れることにより、自分たちの生活を見直し、豊かにするためのきっかけづくりとする。

対象・人数 弥富地区の一般成人 延べ82人

期間・回数 平成20年6月4日(水)、平成21年3月4日(水) 2回 午前8時30分～午後5時

学習内容 第1回 佐原水生植物園・佐原の街並み散策

第2回 南房パラダイス

講座を終えて

今年度は、施設建設の為に料理関連の講座ができず、バス研修のみの実施となった。新施設が活発に利用されるためには利用者と公民館との繋がりが大切であり、それを維持する意味でも有効であった。

史跡散策会(佐倉学)

開設趣旨 弥富地区の史跡を散策することで郷土への関心を高めるとともに、弥富地区を他地区の住民に紹介する。

期間・回数 平成20年11月22日(土)、11月30日(日) 全2回 午前9時30分～午後3時30分

対象・人数 市内の成人 延べ30人

学習内容 岩富、飯塚、宮内、内田地区の史跡見学

学習を終えて

本年度は施設の建て替え計画の影響で散策中心の講座として実施した。

次年度は、佐倉学入門講座として座学も併せて実施し内容を拡充させたい。

竹炭づくり体験

開設趣旨 弥富の民俗行事や自然を他地区の住民に体験してもらい、その保護・育成について考えるきっかけづくりとする。

期間・回数 平成20年12月7日(日) 午前9時30分～午後3時

対象・人数 市内の成人 30人

学 習 内 容 竹炭づくりの体験

指 導 者 大野 昇、中村恵夫

学習を終えて

今回、幅広い層の参加が有り、ほのぼのとした良い雰囲気の中で講座が進行し地域の良さを伝える事ができたと思う。地域の方に講師をお願いしており、弥富地区の暮らしや自然について直に交流する良い機会になっている。

ふるさと弥富散策会

開 設 趣 旨 地域の人を案内人に、弥富地区を散策することにより他地区の住民に対し、弥富地区の豊かな自然等について理解を深める。

対象・人数 佐倉市民 延べ30人

期間・回数 平成20年5月28日(水)、10月22日(水)、 2回

学 習 内 容 坂戸、岩富地区の散策

指 導 者 岩井 明

講座を終えて

弥富地区を他地区の市民に知って貰うことを目的に開催しているが、今年度は地元からの参加者が増えできており、地域の良さを再確認できる場ともなってきた。

広報事業

公民館だより

ね ら い 公民館事業・グループ活動・地域の話題などを紹介し、公民館活動への理解を深め、積極的参加を図るとともに、地域の情報源となるような情報誌を目指す。

発行回数 年3回 学期ごとに作成

規 格 等 A4判4ページ 600部

配布方法 連絡長を通じて全戸配布

団体育成

弥富民俗資料展示室

展示室の見学に対し、文化課と連携をとって説明・案内の実施に協力。地区の老人クラブを中心に説明に当たっている。

弥富地区青少年育成住民会議

地区グラウンドゴルフ大会などの事業実施に協力している。